

市長の4年ごとの 退職金は必要か？

市民の皆さんの意見を聞かせて下さい

日時：4月23日（日）午後2時半より

場所：ベルク横須賀第1研修室

資料代：300円

特別職の退職金

市長 22,269,600円

副市長 14,207,400円



横須賀市の常勤特別職は市長、副市長のほか教育長、上下水道局長、代表監査と5ポストあります。このポストに就いて当選&再任されれば、1任期4年毎に何度でもこの「退職金」が貰えます。なお他の3ポストは350万円程。因みに市議は非常勤特別職で退職金はありません。

市長に2回分4538万円。副市長は「ワタリ」に該当し退職金を2回以上貰う。

財政難を理由に公共施設や学校の廃止や統合を提示して市民を不安に陥れたり、福祉介護のサービスの低下もさせている吉田市長ですが、自分の1期4年毎に貰える退職金については一切触れていません。

全国をみると特別職の退職金は廃止を訴えている一部市長以外は4年ごとに退職金を貰っています。人口や財政規模によって都市ごとに退職金額は異なりますが、40万中核市である横須賀市長の場合は大企業サラリーマンが定年退職時に貰える金額に近いと思います。

新自由主義で不平等社会にされた日本にあって4割もが非正規雇用であり、多くの勤労者は定年時に副市長の退職金額でさえ貰えないでしょう。

私達は6月議会に市長の退職金に対する請願を出す事を検討しています。

そこで納税者、主権者である市民から特別職の退職金についての是非や改廃について意見を伺いたいと思います。

横須賀市民オンブズマン

連絡先 一柳方 EX-ル:umihiro@bc.mbn.or.jp 電話/FAX 046(897)5561

